

\*\*\*\*\* 2016.9.29 発行 \*\*\*\*\*

Kwacha (クワチャ) はチェワ語で「夜明け」を意味します。

編集・発行：日本マラウイ協会  
〒102-0082 東京都千代田区一番町 23 番地 3  
日本生命一番町ビル 5 階  
公益社団法人 青年海外協力協会 気付  
E-mail: info@japan-malawi.org  
Home Page http://www.japan-malawi.org/  
Tel: 042-510-9138

### 【マラウイ共和国】

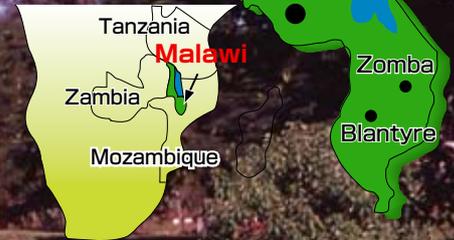
面積：118,484 平方 km (日本の約 1/3)  
人口：1636 万人 (2013 年世界銀行)、首都：リロングウェ  
独立：1964 年 7 月 6 日、公用語：英語、チェワ語  
政体：共和制、大統領：ピーター・ムタリカ  
為替レート：US\$ 1 = MK 716.93 (9 月 2 日現在)  
MK 1 = 0.14 円 (9 月 2 日現在)

### 【日本マラウイ協会 (Malawi Society of Japan)】

日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体です。趣旨をご理解の上、広く各位の入会を希望します。会員数：196 人 (5 月現在)



マラウイ共和国 国旗



## ニュース 第 34 回通常総会と理事会開かれる

日本マラウイ協会の第 34 回通常総会が 2016 年 5 月 7 日 (土) 15:00 から、東京・市ヶ谷の JICA 地球ひろばセミナールームで開かれた。

第 1 号議案では平成 27 年度事業報告と決算報告および会計監査報告が次の 4 つの分野について行われた。

- (1) 広報活動：機関紙 KWACHA 第 54 号、第 55 号発行、協力隊まつりおよびグローバルフェスタ JAPAN2015 への参加、映画「クロスロード」への協賛、ホームページの更新など。
  - (2) 文化・交流活動：国情セミナー、マラウイ独立 51 周年祝典開催。
  - (3) 国際協力活動：第 9 回および第 10 回マラウイウォームハートプロジェクト実施完了、第 11 回分進捗状況報告など。
  - (4) 組織活動：会員データ・会費納入管理システムの運用、入会勧誘活動、定例会開催など。
- 第 2 号議案の平成 28 年度事業計画と予算案では、前年度と同様に広報活動、文化・交流活動、国際協力活動、組織活動を中心に活動を展開していくことが示された。
- 各議案は質疑応答の後、議長が一同に諮り、満場一致で承認された。



▲通常総会での一コマ

一方、7 月 16 日 (土) 13:00 からは同じく JICA 地球ひろばセミナールームにて理事会が開かれ、今年度第 1 四半期の活動報告が行われた。

## イベント 独立 52 周年記念祝賀行事開かれる

日本マラウイ協会は 2016 年 7 月 16 日 (土)、東京・市ヶ谷の JICA 地球ひろばでマラウイ独立

52 周年記念祝賀行事として、新帰国隊員報告会、国情セミナーおよびシマを食べる会を開催した。

新帰国隊員報告会は 14:30 から平成 26 年度 1 次隊の富高由紀子 OG (青少年活動、任地：ミトゥンドゥ) が活動内容を日本語、英語、チェワ語を駆使して報告した。



▲活動報告をする富高由紀子 OG

国情セミナーは 15:00 から、駐日マラウイ国 Rosemary KANYUKA 臨時代理大使が最近のマラウイ国内情勢や日本との関係について講演と質疑応答を行った (要旨は次記事参照)。

16:15 からはシマを食べる会に移った。冒頭、物故隊員へ 1 分間の黙祷を行った。次にマラウイ、日本両国の国歌斉唱、続いて野呂会長の独立 52 周年への祝辞、KANYUKA 臨時代理大使の答辞、大使館職員と職員家族の紹介と進み、乾杯で会は始まった。

今年の参加者は、大使・大使館職員・家族：在日マラウイ人、OB/OG 80 名程度。熱気に包まれた会場でシマを食しながら独立 52 周年を祝い、懇親を深めた。



▲シマを食べる会お開き後、全員で

■日時：2016 年 7 月 16 日 (土) 15:00 ~ 16:00

■会場：JICA 地球ひろば 6 階セミナールーム 600

■講師：駐日マラウイ共和国臨時代理大使 Rosemary KANYUKA 様



シマを食べる会を共催してくださりありがとうございます。

今年のマラウイのテーマは「回復と持続的社会的発展に向けて」です。このテーマは今年の予算審議の際の大統領の演説によるものです。

マラウイは平和的共存と民主主義体制を維持しています。しかし独立 52 周年にあたりマラウイは経済的自由を追求しなければなりません。つまり援助から貿易、輸入依存から輸出主導へのパラダイムシフトです。今はその分岐点にあります。

人々の基本的な考え方を変革するには多くのことをしなければなりません。その一環として全国にコミュニティカレッジを設立します。また、農業だけでなく他の多くの産業を含む産業の多角化を進めます。マラウイの主要輸出品はタバコですがタバコの需要は縮小傾向にあります。農産物は今でも輸出額の 80% を稼いでいる重要な産業ですが、その中でもタバコから多様な作物への多角化を進める必要があります。豆類も輸出品として推進しています。

また、エルニーニョによる気候変動の問題もあります。政府には気候変動の影響を緩和することも求められています。マラウイでは天水農業が主流でかんがいはまだ普及していません。そこでグリーンベルトイニシアティブ (GBI) という計画を進めるためにグリーンベルトオーソリティ (GBA) という独立機関を設立することにしました。GBI は多くのプロジェクトからなり、それらは Malawi

## マラウイ国情セミナー

— 「最近のマラウイ国内情勢」 —

Investment Projects Compendium という投資プロジェクトの一覧にも掲載されています。かんがい普及すれば 1 年に 3 回収穫することも可能になるでしょう。世界は近い将来に食糧不足になるともいわれている中で、マラウイはかんがいと他の農業技術によって国内だけでなくアフリカや世界の食糧バスケットとなることもできます。

GBI は農業と輸出の振興を目指して次の 7 部門の取り組みを含んでいます。

- (1) 穀物、畜産、水産業の振興
- (2) インフラストラクチャーの新設と復旧
- (3) 土地の管理
- (4) 環境の管理
- (5) 技術の開発
- (6) 制度革新の普及と能力開発
- (7) 農産加工と販売の振興

このように GBI は大規模な計画であり投資家を求めています。投資促進のために Malawi Investment and Trade Centre の中に One Stop Service Centre を設立しました。ここには事業手続きに関連する諸機関が入っており事業を始めるための手続きを 5 日以内で行うことができます。One Stop Service Centre の設立ではマラウイは日本より 1 ~ 2 年進んでいるという人もいます。

昨年には第 1 回の投資フォーラムが開催されマラウイ国内と外国の投資家が参加しました。そこでは民間主導の開発の重要性が強調されました。今年の 10 月には次の 6 分野に焦点をあてて第 2 回の投資フォーラムを開催します。

- (1) 農業と農産加工
- (2) インフラストラクチャー (交通、水、商業用と住宅用の不動産開発、工業団地)
- (3) 観光とサービス業 (とくに情報通信技術、保健、教育、創造的芸術に焦点をあてる。)
- (4) エネルギーと鉱業
- (5) 製造業
- (6) 金融業

マラウイは日本とひきつづき良好な関係を保っています。JICA はマラウイに多くのボランティアを派遣しておりその数は協力隊受入国の中で一番です。

ありがとうございました。

#### 団体の紹介

##### NPO 法人聖母 (通称: せいぼじゃばん) (カンントリーマネージャー Declan SOMERS 様)

ブランタイヤ市郊外部のチロモニ地区での学校給食事業にくわえてムジンバ県カソンバ地区でも小学校 12 校で学校給食事業を行っています。先日、ピーター・ンカタ氏 (せいぼじゃばんの姉妹組織であるセイボマラウイの代表) がカソンバ地区での受益者数を当初の約 800 人から 11,000 人になると約束しました。こうした活動を進めるためにも日本人、マラウイ人、アイルランド人 (自分の母国) がお互いをよく知ることが大切だと思います。

##### NPO 法人アフリカ地域開発市民の会 (CanDo) (代表理事兼事業責任者 永岡宏昌様)

CanDo は Community Action Development Organisation の略です。また You can do の意味もあります。これまでケニアでコミュニティ開発に携わってきましたが、マラウイでも同様な活動を進めたいと考えすでに準備調査を 3 回行いました。ケニアでは地元のコミュニティといっしょに学校の建設をはじめとする自助活動を行ってきました。しかし、そこにいったん援助が入ると、そのあとで自助努力を再開することはむずかしくなります。当初の自助努力の考えを取り戻すことから始めなければな

りません。最低限のことは自分たち自身でする必要があると私たちは考えています。

##### 日本マラウイ学生団体 (代表 大林格様、副代表 大平拓実様)

こんにちは、日本マラウイ学生団体です。本日、このような素晴らしい祝典で弊団体紹介時間を頂きまして非常に光栄です。私たちは昨年度より筑波大学を拠点に活動を開始致しました。今年の 7 月 1 日より、筑波大学の正式な認可を頂きました。

本団体の活動プロジェクトの一つとして、来月 8 月 9 日で 7 人でマラウイに渡航致します。いくつかのプロジェクトを考えておりますが、まだ具体的なことが決まってない事項が多くありますので、ぜひともご助言・ご協力してくれたいと思います。マラウイ渡航後も、マラウイの素晴らしさを日本国内に積極的に発信していきたいので、どうぞご協力をよろしくお願い致します。

#### 質問

- (1) グリーンベルトオーソリティ (GBA) の対象は全国になりますか、それとも特定の地域ですか。
- (2) GBA の実施機構はどうなるのでしょうか。たとえば、地域の支所は設置されますか。また、農業関連機関との連携はどうなるのでしょうか。

#### 回答

- (1) GBA の対象は全国になります。その事業は多くの分野にわたります。事業にはゾーンがありますが全国を対象とする独立機関になり、その意味では Malawi Housing Corporation (MHC) のようなものになるでしょう。
- (2) 地域の出先はできるでしょうが、それらはたとえば既存の県事務所に置かれることになるかもしれません。

#### 質問

マラウイの重要分野のひとつは観光とされています。主な観光資源を教えてください。

#### 回答

湖、山、森林、自然保護区、自然動物保護区、野生動物などの自然資源にくわえて、さまざまな伝統的踊り、食べ物などの文化資源があります。ホテルも簡単なものから高級なものまであり、観光客は暖かい心で迎えられる。

#### 意見

マラウイ人の生活向上のためにせいぼじゃばんなどのグループが活動しています。大使館はさまざまなグループ間の連携を支援することができます。実際に会ったりコミュニケーションをとることで相互のギャップを無くしましょう。

#### 質問

筑波大学の学生たちに元気づけられました。アフリカに関心を持っている人々の間でコミュニケーションを取りたいと思います。

給食事業にも元気づけられました。マラウイでは退学者が多いので、それを防ぐ給食事業はすばらしいものです。その便益には単なる食事の提供を超えたものがあります。質問ですが、(1) せいぼじゃばんの活動は Mary's Meals の活動と似ていると思えますが両者の間で調整はありますか。(2) 駐日大使館は支援者間の調整機能を確立していますか。

#### 回答 (1)

セイボマラウイと Mary's Meals との調整は保たれています。ピーター・ンカタ氏 (せいぼじゃばんの姉妹組織であるセイボマラウイの代表) は以前は Mary's Meals の代表でした。彼は 5 歳未満児が脆弱であると考えてセイボマラウイを始めました。連携はマラウイの省とも保っています。たとえば、マ

ラウイ脆弱性評価委員会 (MVAC) が私たちに食糧不足の地区を知らせてくれることもあります。

#### 回答 (2)

駐日マラウイ大使館はどんな質問や訪問も受け入れています。せいぼじゃばんも筑波大学の日本マラウイ学生団体も当大使館を訪問しました。お問い合わせがあれば当大使館に送ってください。

### レポート 第 11 回マラウイウォームハートプロジェクト

#### Luwerezi Health Center への電気引き込み工事完了報告書

2016年6月16日

#### 平成 26 年度 1 次隊 感染症・エイズ対策 南 香莉

ご支援頂きました Luwerezi H/C への電気引き込み工事が完了しましたのでご報告致します。

#### 施工スケジュール

- 1月26日: 採択通知・支援金振り込み
- 2月10日: 資材購入
- 2月13日: ルウェレジへ資材搬入完了
- 2月15日: 電気工事計画表の作成
- 2月16日: 配線工事着工
- 2月23日: 県病院技術者によるスーパービジョン
- 3月14日: 全配線工事行程終了
- 3月18日: ESCOM (電力会社) 接続依頼、支払い完了
- 4月19日: 県病院技術者によるスーパービジョン
- 4月23日: ESCOM 再度訪問、リマインド
- 5月31日: ESCOM Luwerezi へ、接続工事 (写真①②)
- 6月8日: 県病院から電球配給
- 6月15日: 電気冷蔵庫でのワクチン保管開始
- 6月16日: 予防接種開始



▲写真① ESCOM 作業風景 1



▲写真② ESCOM 作業風景 2



▲写真③ 新設された電気冷蔵庫

**効果測定**

	電気接続前	電気接続後	効果
冷蔵庫	パラフィン燃料の未配給による未稼働年間約100日、この期間予防接種不可	未稼働日数の減少 停電2日以内なら保冷剤にて保管可能、3日以上は停電はほぼなし 安定的な予防接種が可能(写真③④)	年間予防接種対象者(子供・大人): Luwerezi 1600人・6000人
電気稼働	1クラスター(巡回のための燃料費が支給されているH/Cのまとまり)内に電気接続のあるH/Cがなく、一旦冷蔵庫が未稼働となるとクラスター外のH/Cでワクチンを緊急保管していた。クラスター外のため一旦預けると冷蔵庫未稼働時はワクチン接種が不可能であった	冷蔵庫2台稼働 クラスターH/Cの緊急時ワクチン管理を担い、冷蔵庫未稼働時でも必要に応じてバイクでワクチン配達を実施する(図①)	年間予防接種対象者(子供・大人): Emfeni 1200人・4500人 Kosolo 900人・3300人 Mkoma 900人・3200人 Msese 900人・3300人  5 H/C Total: 5500人・20300人



▲写真⑤夜間医療行為の様子  
▲写真⑥夜間照明により明るい環境



▲写真⑦夜間照明のついた妊産婦病棟

ては既に御存知かと思いますが、オースティン・ソンバ氏は7月21日に初来日し、7月22日~29日まで埼玉県北本市にて全日本剣道連盟主催『外国人剣道指導者夏期講習会』に参加、最終日には剣道四段を取得することが出来ました。



▲世界各国から集まった海外剣道愛好家

その後、財務省剣道部での稽古会、東京都町田市の剣友会での稽古会、そして、愛知県のトヨタ自動車剣道部での稽古会と、帰国までに三つの稽古会に精力的に参加しました。



▲町田市山崎剣友会/緑ヶ丘剣道クラブの皆様と

その他、彼の来日歓迎会に全国から30名以上の関係者が集まって下さり、ソンバ氏は懐かしい顔との再会をととても喜んでいました。



▲ソンバさん来日歓迎会での一コマ

観光としては東京スカイツリー、浅草寺、トヨタ自動車会館&工場見学、名古屋城などをとても限られた時間の中で楽しみ、8月2日、日本での全日程を終了し、帰国の途に就きましたことを報告させていただきます。



▲愛知県トヨタ自動車会館にて

今回、皆さまから頂きましたお金の使い道に関して、収支報告書として以下に記させていただきます。  
※余剰金に関しては、マラウイ現地での日本人剣道サポーターと相談し『南アフリカ剣道協会まで昇級・昇段審査を受けに行きたくも諸事情により行けない剣士たちの交通費として使う』『破損している設備の修理費として使う』などを検討中です。皆様から頂きましたお金を、彼らにとって有効的な使い道となるように努めます。

この度の皆様からの心温かい御協力に心より感謝申し上げます。

**反省点・保守整備上の課題**

- ・ 購入後破損が発覚するケースがみられた  
→ 購入時の確認、慎重なトランスポートの確保が必要であった
- ・ 電気代支払いは県病院によるものであり、ヘルプセンターの努力だけでは維持が不可能
- ・ 鍵がかからない1部屋にコンセントが有り、使用は良心に任されている

**会計**

収入：MKW 1,193,899  
(ご支援振込額 US\$1705.57、換金レート 700 MKW/US\$)  
支出：MKW 1,104,600  
残金：MKW 89,299 → 新妊産婦病棟建設費に使用させていただきました

**病院長からの感謝の言葉**

I am delighted to deliver my sincere thanks for your kind gesture towards the donation which has enabled the installation of electricity to the health center of Luwerezi. This is not so easy, but you have sacrificed to assist the health center and the three staff houses to have electricity. This will facilitate smooth operation of health activities such as immunization and deliveries.

Secondly, appreciation should go to the two JICA volunteers for responding positively to our request.

May almighty lord bless you so that you are provided with more.

Lonely J Soko

Luwereziのみでなく周辺地域住民へも大きな効果が見込めます。

ご支援いただき、誠にありがとうございました。

**投稿** [マラウイ剣士 ソンバさんが日本での剣道合宿に参加するための航空チケットをプレゼントしてあげたい募金] に御協力下さった皆様へ

**報告：中川 総 (マラウイ剣道 OB)**

今年の五月~七月にかけて、上記プロジェクトに関し、在マラウイ日本国大使館：矢野様、青年海外協力隊シニアボランティア：岩田様に御協力を頂きながら募金活動を行ないました。その結果、67名の方より総額 478,000 円ものお金を皆様から頂くことが出来ました。

マラウイ剣道協会の Facebook をインターネット上でチェックして下さっている皆様におかれまし



▲写真④予防接種の再開

図① Luwerezi H/C クラスター地図



	電気接続前	電気接続後	効果
夜間照明	夜間の急患は暗闇の中、手持ちの小さな電灯を使って処置を行っており、安全性に懸念があった	照明により十分な明かりの中での処置が可能となった(写真⑤)	夜間患者：年間約100人 安全な医療提供
夜間環境	H/Cには随時出産待機妊婦とその付添が多く滞在している。しかし夜間は外灯がなく月明かり、もしくは手持ちの小さな電灯に頼っており、警備員もいるがセキュリティに不安があった	外灯が夜中点灯し、安全で安心できる環境となった(写真⑥⑦)	年且C 滞在者数：年間累計約1100人

	電気接続前	電気接続後	効果
その他	保健省によるファーマシー病棟建設プロジェクトの支援対象条件に ESCOM 接続が含まれていた	保健省による支援対象の条件を満たし、新設決定	H/C 受診者：年間累計約30500人

内 容	収入 (円)	支出 (円)	備考
マラウイ在住 13名の皆様から頂いた募金 (USD730とMWK145,000→日本円に換算)	96,000		
日本国内および海外 (マラウイ除く) 54名の皆様から頂いた募金	382,000		
往復航空券および一般入国ビザ (USD1385とMWK12,000→日本円に換算)		144,500	
ソンバ氏 日本滞在中の生活費 (お小遣い)		20,000	
昇段審査受験料&四段登録料		10,800	
ホテル代 (7月21日, 29日, 30日)		20,180	
剣道用品代 (遠征バッグ, 竹刀袋, 竹刀, 木刀, 中古小手, 修理用鹿革, その他剣道用品等)		79,000	※端数切捨て
交通費 (新幹線+電車+地下鉄+成田空港行きリムジンバス等)		28,000	※端数切捨て
スカイツリー観光+食費一部負担+雑費 等		10,000	※端数切捨て
成田→マラウイ 荷物超過料金		20,000	
合計	478,000	332,480	
収支差額 (余剰金)		145,520	

※ソンバさんからお礼状が届きましたので紹介致します。

To all supporters/friends  
Letter of appreciation - Japan Kendo trip 2016  
Firstly, from the warm heart of Africa (Malawi) I would like to greet you all.  
With due to your contributions towards my kendo trip to Japan this year, I would like to express my sincere appreciations for your assistance.  
For a long time I had been looking forward to an opportunity to join training seminar with friends around the world at Kitamoto.  
I am very delighted to have made a lot of friends and get a lot of times leaning the right way to do Kendo besides visiting other places of interest during my stay in Japan.  
Generally speaking, I had a wonderful life time experience which I shall always cherish to remember the rest of my life. Thank you very much for making my dream comes true.  
I will do my best to share the skills and experience learnt to my colleagues in Malawi.  
Zikomo kwambiri Yours faithfully,  
Austinie Somba

皆様へ、感謝の手紙 - 日本剣道旅行2016  
はじめに、アフリカの暖かい心 (マラウイ) から、皆様にご挨拶いたします。  
今年、私の日本への剣道旅行に対する皆様の貢献、皆様からの御支援に心からの感謝を表したいです。  
私は長い間、北本市の剣道合宿研修会で世界中の剣友と繋がる機会を楽しみにしていました。  
私は、日本の滞在期間中に多くの友人が出来、そして、興味

のある名所を訪問する他に、剣道の正しい在り方を学ぶ多くの機会を得て、大変嬉しく思います。  
概して言えば、私は、私の残り人生の中にも大事に記憶すべき、すばらしい人生経験が出来ました。  
皆様に私の夢を実現させて頂いたことをとても感謝しています。  
私は、マラウイで私の剣道仲間と学んで来た技術と経験を共有するために、最善を尽くします。  
ジコモ クワンビリ  
オースティン・ソンバ (マラウイ剣道協会)

### 投稿 お腹を減らしているすべての子どもたちに給食を!

#### NPO法人聖母

日本マラウイ協会のみなさま、はじめまして、NPO 法人聖母 (通称:せいぼじゃぱん) と申します。この度は、活動紹介の機会を頂きましたことに深くお礼申し上げます。

せいぼじゃぱんは、2015年1月に設立した給食支援団体です。食事が食べられなければ、集中して学ぶ事もできず、子どもは将来への夢を抱く事ができません。せいぼじゃぱんは、「貧しい国を豊かに変えることはできる」という強い信念をもち、子どもがきちんと食事をする事によって集中して学ぶ事ができれば、将来その国を発展させる事のできる人材に育つという考えのもとに設立しました。5歳以下から始まる給食支援は、小学校への学校給食支援へと繋がっていきます。南東アフリカのマラウイ共和国 (以下、マ国) をスタートに、世界中の飢えで苦しんでいる子ども達に給食を届けることで、子どもが自分の力を発揮する社会の実現を目指しています。

2016年8月31日現在、保育園40園1,599人と小学校2校1,181人に対して給食を提供しています。なお、保育園には「Seibo Kids」(注)と呼ぶ貧困家庭や孤児の子どもが園児の約10%含まれています。

給食は、Likuni Phala (以下、パーラ) を提供しています。マ国での保健医療分野の経験者はご存知かと思いますが、このパーラは主に栄養不良児に与えられていたましたが、現在は学校給食に利用されています。保健医療機関で栄養不良と診断された子どもにはもっと栄養価の高いスーパーシリアルが与えられています。このパーラは、白いトウモロコシと大豆の粉末にビタミンとミネラルが加えられ、粥状にして食べます。1人の子どもに対して100グラム

を提供しています。日本の給食では野菜やお肉・魚など複数品目が提供されますが、マ国では日本のような給食を提供することが難しい状況です。白いトウモロコシの粉だけの粥が提供されているところもあります。

せいぼじゃぱんの今後の活動ですが、支援している小学校2校はムジンバ県のカプタ教育圏内に位置しており、この圏内には、あと10校 (合計生徒数10,417人) があります。給食を求め子どもが自由登校 (圏内の小学校を自由に選べる) してしまうことから、生徒の通学等での安全管理面を考慮し、残りの10小学校にも給食を提供すべく準備を進めています。今年、12校40園に給食を提供することになりますが、来年早々には一度全体を評価し、その後の支援の在り方を検討します。また国内においては、ファンドレイジングの活動を本格化させ、可能な事業を展開して行く予定です。

せいぼじゃぱんは、世界中の貧困によって食事の出来ない子どもをなくすために、今後も活動を拡大していきます。

(注) Seibo Kids: 保育園に通えない貧困家庭や孤児の子どもが、無料で通えるようにせいぼじゃぱんと姉妹団体 NGO Seibo Maria が支援している。



日本マラウイ協会 2016年3月~2016年8月 主な活動内容	
(1)2016.3.31	3月定例会、機関紙KWACHA第55号発行
(2)2016.4.28	4月定例会
(3)2016.5.7	第33回通常総会
(4)2016.5.26	5月定例会
(5)2016.6.12	筑波大学の日本マラウイ学生団体との会議
(6)2016.6.30	6月定例会
(7)2016.7.16	独立52周年記念祝賀行事 (帰国隊員報告会、国情セミナー、シマを食べる会)
(8)2016.8.25	8月定例会

## 日本マラウイ協会情報

### ■ ご意見、ご質問をどうぞ

電子メールによる日本マラウイ協会からのお知らせを受け取りたい方、当会に対するご意見、ご要望、ご質問などありましたら、  
E-mail: info@japan-malawi.org へご連絡ください。

### ■ グローバルフェスタJAPAN2016に出展します

10月1, 2日、東京都お台場のセンタープラザにて上記イベントが開催され、今年も当会は参加出展致します。  
ホームページアドレス <http://gfjapan2016.jp/>  
お時間のある方は是非お越しください。

### ■ KWACHA バックナンバー閲覧出来ます

当会は2016年2月26日に設立33周年を迎えましたが、設立時の機関紙KWACHA第1号から第56号(今号)までの全バックナンバーをPDFファイル化し、当会ホームページへ掲載しています。是非ご覧ください。

### ■ 日本マラウイ協会 月次定例会にお越しください

日本マラウイ協会では、原則毎月最終木曜日、19:00 ~、東京都内 (原則: 新宿区市谷のJICA地球ひろばセミナールーム) で、月次定例会を開催し、マラウイ関連の支援活動についての討議や、マラウイ関係者間の情報交換などを

行っております。参加は会員でなくても構いません。初めての方も大歓迎です。なお、開催日等は突然変更になる場合もありますので事前に当会までお問い合わせください。

### ■ 日本マラウイ協会 入会方法等

当会ホームページのトップページの「入会案内」のアイコンをクリックするとメールフォーマットが出てきますので、所要事項を入力して送信してください。また、入会金と年会費の合計 (個人正会員の場合 1,000円 + 3,000円 = 4,000円) を下記のいずれかの銀行口座へお送りください。継続会員の方の年会費 (個人正会員の場合 3,000円) は、E-mail でご連絡の上、お送りください。いずれもどちらの口座に送金するかE-mail でお知らせください。

- (1)三菱東京UFJ銀行 東恵比寿支店 普通口座255739  
口座名義: 日本マラウイ協会事務局 貝塚光宗
- (2)ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキユウ店)  
当座預金口座 0013125  
口座名義: 日本マラウイ協会  
(ゆうちょ銀行から送金する場合は、口座番号: 00190-7-13125)